

特集

異文化に触れ、未来を描く

オーストラリアケアンズ訪問 ～ 第16回中学生海外派遣 ～

町では町内中学校の2年生を対象に、現地の生徒や家族との交流を通じて生活や文化に触れるとともに、外国語による表現と理解を高め、国際感覚豊かな青少年の育成と国際交流の推進を図ることを目的として、中学生を海外に派遣しています。

今年は、7月31日から8月7日までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

現地で生徒たちは、学校訪問による授業参加や、ホームステイを体験しました。日本とは違う言語や生活習慣、文化に触れ、ホストファミリーや現地の中学生との交流を通して、コミュニケーションの大切さを肌で実感し、様々な人たちの温かな支えによって、多くのことを学んで帰国しました。

参加した生徒の皆さんに、アンケートをとりましたので、ここに紹介します。



ケアンズ・ステート・ハイスクールでの集合写真

全日程表		
月日	地名	スケジュール
7/31(金)	上三川町 成田空港(機内泊)	午後2時30分出発式、その後、成田空港空路、オーストラリア・ケアンズへ
8/1(土)	ケアンズ着 (ホームステイ)	ホストファミリーと対面式 ホストファミリーデー
8/2(日)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	ホストファミリーデー
8/3(月)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	学校訪問・体験授業・英語の語学研修
8/4(火)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	学校訪問・体験授業・英語の語学研修
8/5(水)	ケアンズ (ホームステイ)	グリーン島研修(世界遺産グレートバリアリーフ) ホストファミリーとの Farewell Party
8/6(木)	ケアンズ	キュランダ村研修(世界遺産デインツリーフォレスト及びアボリジニ文化)
8/7(金)	ケアンズ 成田空港 上三川町	空路、ケアンズから成田空港へバスで上三川町へ

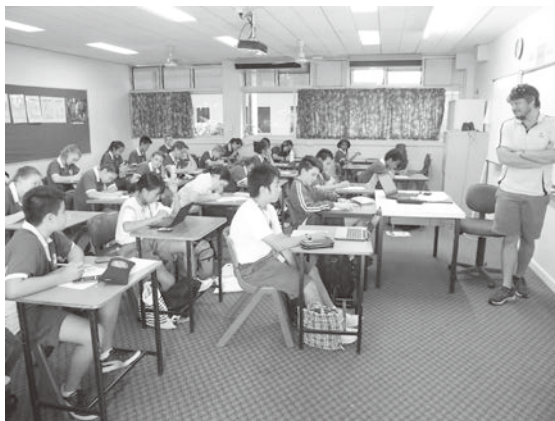
参加生徒		
所属名	氏名	
本郷中学校	塩澤友紀	(しおざわ ともき)
	清水基宏	(しみず もとひろ)
	戸谷梨乃	(とや りの)
	石和陽菜	(いしわ はるな)
	野中美月	(のなか みつき)
	海野天音	(うみの あまね)
上三川中学校	松本慧悟	(まつもと けいご)
	若林耕太	(わかばやし こうた)
	熊倉満里奈	(くまくら まりな)
	佐藤和佳	(さとう のどか)
	杉山ヒカル	(すぎやま ひかる)
	浜野芽衣美	(はまの めいみ)
	北條心菜	(ほしじょう ここな)
	陶山成実	(すやま なるみ)
明治中学校	佐藤巧	(さとう こう)
	中山雅継	(なかやま まさつぐ)
	木村優希	(きむら ゆうき)
	沼田瑞	(ぬまた みずは)
	熊坂美咲	(くまさか みさき)
	野口周子	(のぐち ちかこ)
	白木杏佳	(しらき きょうか)
寺島亜砂	(てらしま あすな)	

今回の海外派遣にあたって

- ①この海外派遣で得たものは何ですか？
 - ②この海外派遣を自分の将来に、どのように役立てていきますか？
 - ③今回の研修で一番印象に残っていることを、短歌で表現してください。
- と、参加生徒に3つの質問をし、回答をいただきました。

塩澤 友紀

- ①何ごとも、まずは試してみるという心構えを学びました。
- ②人と会話するときは、まず言葉ではなく心で接していきたいと思います。
- ③最高の 仲間と過ごした 八日間 思い出に残る みんなの笑顔



学校訪問 体験授業

清水 基宏

- ①コミュニケーションとは、「自分から働きかける勇氣」ということを知った。
- ②今回使ったジェスチャーを交えてのコミュニケーションを、今後、外国人と話すときに応用していきたい。
- ③数学の 問題読めず 困った僕に そつと解説 ありがとつ

戸谷 梨乃

- ①学校の代表として選ばれたというリーダーの責任・自覚と、知らない人と話すためのコミュニケーション能力。
- ②リーダーとして先頭に立つ、自己の英語力を更に強化し、英検合格 トーイックへ挑戦などに役立てたい。
- ③海外で 発音が良いと 褒められる その一言が 胸熱くする

石和 陽菜

- ①積極性と責任感です。英語で自分から話しかけないと伝わらないし、何でも自分でしないとけないからです。
- ②今後、外国人と出会った時に、今回学んだ事を生かしてたくさん話ができるように役立てたいと思います。
- ③日本と 全く違う 海外の 異なる文化 感じて驚く



ホストファミリーとの出会い

野中 美月

- ①伝わったときの喜びです。言語が違うからこそある喜び、悔しさを味わうことができました。
- ②将来というよりは今すぐに日本人、オーストラリア人それぞれの良さを取り入れて行動しようと思いました。
- ③白、黒、黄、ちがいがあから 分かる良さ ちがいがあから 分かる欠点

海野 天音

- ①言葉がうまく通じなくても積極的に話そうとすることで気持ちは伝わる事を知り、自信と勇氣がきました。
- ②海外派遣で得た自信と積極性を活かして、まずは2020年オリンピックの通訳ボランティアに参加したいです。
- ③話したい 気持ちがあれば 伝わるよ 身ぶり手ぶりで 楽しい会話

松本 慧悟

- ①自分の小ささと日本という国のありがたさです。特に食事や入浴の面では日本は、とても素晴らしいです。
- ②この今までの常識がまったく通用しない環境での経験を ものをまったく別の方向から見る糧にしたい。
- ③日本を 離れ気が付く 日本の あたり前を 生きる喜び

若林 耕太

- ①積極性です。相手に気持ちを伝えるには、自分から話すことしかありません。失敗を恐れず行動することです。
- ②他国の文化や習慣の違いを理解し、視野を広げたいです。そして、何事にも積極的にチャレンジをしたいです。
- ③夏休み ホームステイで 国際化 英語でつなぐ コミュニケーション

熊倉 満里奈

- ①英会話力、コミュニケーション力、オーストラリアの文化や伝統を得ることが出来ました。
- ①将来のために、そして今後の英会話に役立てていきたいです。
- ①バディと一緒に過ごした 2日間 とても楽しく 良い思い出に

佐藤 和佳

- ① ケアンスのすばらしい自然や文化、生活にふれる事ができ自分の知らない世界を学び得る事ができました。
- ② もっと英語を上達させ、英語を全く知らない子どもたちに、英語の楽しさを伝えていきたいと思っています。
- ③ ありがとう 国境越えた やさしさに バディと過ごした 学校訪問



バディとの出会い

杉山 ヒカル

- ① 言葉が違っても、伝えたい気持ちがあれば心が通じあえること。挑戦しようとする気持ちを育てることができた。
- ② 私はこの経験を生かして、国外について視野が広がったので多くの人と触れ合える仕事に就きたい。
- ③ たくさんの 仲間に出会えた 貴重な 七日 1000時間は 一生の宝物

浜野 芽衣美

- ① 他国に行つて、言葉が伝わらない為、判断力や決断力、そしてコミュニケーション等を得たと感じました。
- ② 文化が違う人と、一緒にいた分、何かをつたえようとする努力、これを社会のために役立てていきたいです。
- ③ 嬉しさも 落ち込み常に 繰り返し 単語を並べて コミュニケーション

北條 心菜

- ① その場に応じ、判断する能力及び、コミュニケーション能力が向上しました。
- ② 今までよりも、更に英語を勉強して、英語を使う職業に就けるように努力していきたいと思っています。
- ③ 頑張れば きつと伝わる 誰にでも 戸惑い溢れた 海外派遣

陶山 成実

- ① 誰にでも積極的に話しかけ、自分の気持ちをきちんと相手に伝えること。
- ② 自分に自信を持ち、積極的に行動していくことや英語の能力を活かす仕事につく。
- ③ 伝えたい 自分の気持ち 伝えたい 積極的に 会話をしたこと

佐藤 巧

- ① 相手に自分から話しかけたり、コミュニケーションをとったりする積極的な行動の大切さ。
- ② 色々な国の人が仲良く生活しているのを見て、人種や言語に「関係なく進んで交流できる人になりたい」と思った。
- ③ 笑い声 優しい家族と バディの手 ともに過ごした ケアンスの町

中山 雅継

- ① 自分の思いや考えを「伝える」ことの大切さと、積極的に行動をすることの重要さに気づけたこと。
- ② もっと英語を勉強して、将来、海外との交流をできる仕事につけるようになるばりたい。
- ③ 英会話 あんまりできず 困ったがわかってくれた 人々のやさしさ

木村 優希

- ① 伝えるという気持ちをもって自分から話しかけてみるこの大切さや、つたわったときの喜び
- ② 英語でコミュニケーションをとることの楽しさが分かったので、言葉の力で人の役に立つことがしたいです。
- ③ 異国の地 ふみしめて分かる 喜びと

心で感じる 人のあたたかさ

沼田 瑞

- ① 自分から何かを行う積極性、時間を守ることの大切さ、仲間と協力して何かをこなす協力的です。
- ② 積極的にみんなの前に立ち、引っぱっていくこと。どんな困難も仲間と協力し乗り越えられるようにしていきたい。
- ③ 緊張も 一気にふつとが ノリのよさ 君とであえて 幸せでした

熊坂 美咲

- ① 不安な英語が通じたときの感動・フレンドリーで親切な現地の方の温かさ・日本語などを知ってもらえる喜び。
- ② この経験が無駄にならないために今までの私が踏みとどまっていた事をこれからの私は挑戦するようになりたい。
- ③ ついみとれ 初めてめぐり みた景色 透明な海に キレイなサンゴ



バディとのティータイム

特集

野口 周子
のぐち ちかこ

① 英語でのコミュニケーション力です。日本語が通じない場所でも、意志を伝えることができるということです。

② これからは、もっと自分の意志を伝えられるように頑張ります。人とのコミュニケーションを大切にしたいです。

③ グリーン島 かがやく海に さんごしよつ、心で感じた 自然の力

白木 杏佳
しろき きょう

① 異文化交流の大切さ。オーストラリアの教育方針は幻覚で、日本より駢やテーブルマナーに厳しかった。

② 世界には、色々な考え方を持った人がいるので、相手の立場に立って理解するよう取り組んでいきたい。

③ ホームステイ 最後の夜に 全員で眺めた星は 未来を照らす

寺島 亜砂
てらしま あすな

① 他校だけではなく、違う文化を持つ人達とかかわり、視野が広がった。そして友達が増えた。

② なにごともにも挑戦して行き、そして違う文化を持つ人とかかわる楽しさを知ったので沢山のひと話しかかわる。

③ 船ゆられ 強い日ざしと 水しぶき 宝石のよつに 海ひかりたる

派遣団長報告

団長 鈴木 克伸 (本郷中学校校長)

7月31日から7泊8日の日程で、町内3校の中学生22名とともに、オーストラリアのケアンズを訪れてきました。

生徒たちは5泊のホームステイをしながら、ケアンズ・ステート・ハイスクールを訪問し、現地の中学生と一緒に授業を受けたり、英語の特別レッスンを受けたりしました。初めのうちは不安げな面持ちでしたが、時間が経つとともにうち解け、英語で談笑する光景も見られるようになるなど、交流を深めていました。また、世界遺産のグレートバリアリーフやキュランダ村も訪れ、南半球の自然や原住民の文化などについても学ぶことができました。今回の研修で、生徒たちは、積極的に話したり行動したりすることの大切さや、文化の違い、人の優しさなどを自らの体験をとおして学んだようです。同時に、英語が通じたときの喜びや、逆に通じなかった時の悔しさ、もどかしさも感じとってきました。

この貴重な経験を生かし、何事にも積極的にチャレンジし、より多くの体験や経験を積みながら、将来の上三川町を引っ張るような立派な大人に成長してくれることを願っています。



帰国報告会

8月17日(月)に、上三川町役場大会議室において帰国報告会を開催しました。

報告会では、町長及び議会関係者を前に、生徒や引率した先生方から報告がありました。

引率者からは「積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿が見られた」「町の代表として十分に誇れる姿であった」と、生徒を大いに評価する報告がありました。



生徒たちからは、「コミュニケーションの大切さが分かった」「質問に適切に答えられたとき、うれしくなった」などの報告がありました。

また、「もっと英語が上手に話せるようになり、英語を使う仕事に就きたい」「この経験が、今後の取組の自信になる」など、今後について発表もありました。

生徒たちの言葉の一つ一つや表情から、多くの貴重な体験を積んできたことが伝わってきた報告会でした。

▶申込み・問い合わせ先=教育総務課 学校教育係 ☎56 9156